

令和5年度 第2回健康おかげき21計画推進協議会 会議録

日時:令和6年3月19日(火) 午後1時30分から3時00分まで

場所:岡崎歯科総合センター 2階 ホール

出席委員:安藤委員(議長) 青木委員 浅田委員 市川委員 梶原委員 畔柳委員 小出委員  
杉原委員 千賀委員 東原委員 守谷委員

欠席委員:阿部委員 長谷川委員 福山委員

傍聴者:1名

事務局:保健部長 安藤 保健所長 片岡

保健部次長 野澤 保健政策課長 佐々木 保健政策課副課長 筒井

保健政策課保健政策係長 石原 保健政策課施設整備係長 勝田

健康増進課成人保健係長 酒井 他保健政策課職員3名

内容:開会

部長挨拶

議題

1 健康おかげき21計画(第2次)最終評価について

2 健康おかげき21計画(第3次)骨子について

保健所長挨拶

閉会

議題1 健康おかげき21計画(第2次)最終評価について(前半)

事務局	議題1「健康おかげき21計画(第2次)最終評価について」(1)～(3)を説明
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	健康寿命の延伸と健康格差の縮小の部分で、差が小さくなっているため、非常に良いことであるが、なぜ評価がBであるのか。
事務局	最終評価報告書冊子2ページに示されてある評価の基準に則って評価を行っている。
委員	今回の調査の対象者数が示されたが、調査として有意な数で調査できているのか。
事務局	統計的に問題ない数で調査を実施している。
委員	がん検診受診率は、中間評価で上昇し、最終評価で悪化しているが、中間評価の値はいつものものか。
事務局	中間評価は平成30年度に実施しているが、値は平成29年のものである。最終評価の値は、令和4年のものである。
委員	コロナ禍の影響があったため、最新値はさらに上がっていると考えている。がん検診の受診率は、何のデータなのか。アンケートからとったものか。
事務局	アンケートではなく、市の助成で受けた受診者数を市で集計した値である。
委員	飲酒している未成年者(中学生)が増えているのはなぜか。
事務局	調査回答者の中で、人数は1人から2人に増加する程度であっても、パーセンテージとしてすごく増えてしまう。
委員	その程度の誤差でパーセンテージに大きな影響が出る値で、掲載するのは適当なのか。

事務局	確認する。
委員	かかりつけ小児科医を持っている保護者の割合について、10%以上落ちているが、それに関する分析はどう行っているか。
事務局	推測でしかないが、症状によっていろんな医療機関に受診する者が増えることで、1か所をかかりつけ医と認識している者が減少したのではないかと考える。
委員	コロナ禍での受診控えかと考えていたが、他にももし情報があれば教えて欲しい。
委員	策定時、中間評価時、最終評価時の部分に、年度を掲載する方が、コロナの流行等の時代背景が分かりやすいかと思う。
事務局	検討する。
委員	中学生の喫煙率が上がっており、本来中学生は購入できないはずだが、喫煙している者の入手方法を分析することで、防止できるのではないかと感じた。 小学生の肥満の増加と、20歳代女性のやせの増加が相反すると思う。これから今の小学生が成長した時のことを考えるなど、経時的なことを考えられると良いと思う。
事務局	若い女性のやせは国としても増加している。また、小学生の肥満はコロナ禍の影響による運動機会の減少などが影響していると思う。議題2の後半でも、若い女性のやせと小学生の肥満について話題が上がっているため、参考にしてほしい。
委員	小学5年生の肥満は、コロナ禍の外遊びの機会減少等の影響があり、同じ要因が中年者のメタボリックシンドロームの増加にもつながっていると思う。一方、若い女性のやせは、ボディイメージとして「自分は太っている」と認識してしまっている者が多いことが要因となっているため、この2つの課題は切り離して考える必要があると考える。
委員	中学生の喫煙者の増加という結果があったが、くすりの適正使用協議会にて、小学校から喫煙を始める傾向が強くなっているということが報告されている。今回の結果から、喫煙に関する早期からの教育の必要性を感じた。
事務局	栄養・食生活の分野で、野菜の摂取量が課題として挙がっていた。これまでに市を始めとした各団体に野菜摂取増加に向けた取組を実施しているかと思うが、市民に接する日頃の活動で感じていること等があれば教えて欲しい。
委員	子ども向けの料理教室などは、とても多くの人から応募をいただいている。特に夏休み・冬休みに実施しているが、野菜摂取量や朝食摂取についても、教室の中で話題にあげるなど、啓発する機会を増やせたらと感じている。
議長	子どもの野菜摂取量を増やすにあたり、保護者の支援が必ず必要である。保護者のかたへ協力的な支援を頂けるような活動が必要である。
委員	野菜摂取について、家庭でどうもろこしやトマトを育てており、3歳の孫が来た時に、興味を示し食べてくれる。プランターを用いれば、マンションでも育てられると思う。家庭菜園をしていると、身近な子どもが食べてくれたり、自分自身も食べようという気持ちになるため、野菜摂取の促進に効果的であると思う。
事務局	市で食育推進計画を推進しており、食育という観点でも、家庭菜園を進めていこうという動きがあり、食育推進計画と併せて健康おかざき21計画の野菜摂取を推進したいと思う。
議長	身体活動・運動分野で、特に65歳以上の男性で大きく減少したという報告があったが、歩数を意識していなかった市民が歩きたくなるようなきっかけとして、どのようなものがあるか教えて欲しい。
委員	65歳以上の年代であると、地域のつながりが大切になるかと思う。地域活動をしている高齢者の割合が減っていた。愛知学泉大学が作成しているウォーキングマップなどを利用して、楽しみながら歩数を増やせたら良いと思う。
議長	これで議題1の前半を終了する。

議題1 健康おかざき21計画(第2次)最終評価について(後半)

事務局	議題1「健康おかざき21計画(第2次)最終評価について」(4)～(5)を説明
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	最終評価から見えてきた課題をいくつか挙げているが、「高齢者で生きがいを感じていない者の割合が多い」という課題については、前半の報告に入っていなかったが、どこから出てきた課題なのか。また、挙げられた課題を分析した中から出てきた課題かと思うが、評価Dとなった指標については分析しなくて良いのか。
事務局	前半は指標の推移に関する説明となっていた。市民アンケートの中で、指標に挙がっていない項目も調査しており、「高齢者で生きがいを感じていない者の割合が多い」というものは、指標以外の部分から出てきた課題である。
委員	計画の骨子を考えるにあたり、挙げる課題が大切だと思うが、本日挙げているものに絞りこんだ理由を知りたい。他の部分が抜けていないか、といったところも気になる。
事務局	今回スライドで示していないところも含めて分析を行っている。資料2最終評価結果報告書(案)には、少し掲載しているが、見てわかるような書き方を検討していきたい。分析については、漏れる部分がないようにみているが、計画策定の際にも確認していきたいと思う。
議長	青年期のやせの割合の増加について、市民のアプローチ方法として、正しい情報を伝えるために出来ることについて提案があれば、教えて欲しい。
委員	やせていることが美しいという感覚を持つ人が増えている。厳しく食事を制限するなどのダイエットをしている人も多いのではないかと。やせの課題については、運動だけではなく食事も関係するかと思う。依頼があれば健康づくりリーダーとして、正しい運動方法であればお話しできる。
事務局	これで議題1の後半を終了する。

議題2 健康おかざき21計画(第3次)骨子について

事務局	議題2「健康おかざき21計画(第3次)骨子について」説明
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	ヘルスリテラシーの向上について、健康づくりに関心がある人は自分で情報を集めることができる。関心のない人に対しての啓発方法が課題であると感じる。保健所でも、商業施設等でイベントを実施し、来店者に声をかけて啓発を実施していると思う。そのような形で無関心な人へのアプローチができるのは良いと思う。 また、難しいとは思いますが、全員に対してスマートフォンに強制的に情報を届けることができると良いと思う。
事務局	保健所の事業でも、イオンモール岡崎等の人が集まる場所で啓発イベントを実施している。ウォーキングアプリ OKAZAKI♥まめぼのお知らせ機能や、まめ吉 SNS を用いながら、健康情報を届けたりもしている。情報発信の手段は増えており、市としても様々な方法を試している最中である。
議長	岡崎市には4つの大学がある。今年度は愛知学泉大学と市で連携してウォーキングマップを作成した。そういうきっかけがあると、学生や市民の意識向上につながるかと思う。ぜひ今後も大学を活用しながら事業を展開してみたい。
議長	これで議題を終了する。